

(リスクアセスメント) ウニモグ剪定機 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、使用機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料	
作成日	2025年2月5日	ウニモグ万能車に大型剪定機(回転刃) アタッチメントを装着した機械 パッカー車	ブロー、	ヘルメット、耐切削手袋、保護メガネ又はフェイスシールド 安全靴又は足袋又は長靴、 しらすんだー受信機		
改訂日						
作成者	高島 直人・飛田 悟郎					
必要資格等	自動車運転免許(大型)			作業人員	5名以上	
備考	・パッカー車への積込み作業については、「パッカー車への積込み」作業手順書を参照。 ・ケーブル等との近接作業になる場合は、「光通信ケーブル等近接工事 施工計画書(植栽作業)」を参照。				その他	パッカー車のスイッチ操作専門要員の配置 (腕章装着又はヘルメットに明示)

可能性	1:ほとんど起かない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)	×	重大性	軽微 (不体災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)	=	評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3			危険度:1	危険度:2	危険度:3			1~2	3~4	5~9

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価		
準備工	1	作業内容の打ち合わせ	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	1	2	リスクアセスメントを活かした危険予知活動をする	職長	1	1	1		
	2	作業人数の確認	作業における不適切な人数の配置	2	1	2	作業において、適切な作業人数を確認。健康状態の確認。アルコールチェック	職長	1	1	1		
	3	作業位置・規制の確認	規制の標識・テープの設置の間違え	2	1	2	別紙規制図を確認する	全員	1	1	1		
	4	規制材の確認(設置の場合)	規制材の破損・汚れ・機械の装置は作動するか	2	1	2	規制材のチェックをおこなう	全員	1	1	1		
	5	使用機械の点検	機械、工具が誤作動、現場にて稼働しない	2	1	2	機械・器具の不備はないか	全員	1	1	1		
	6	作業方法の確認	各自の作業が不明確で不安全行動を起こす	3	2	6	各自の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	1	1		
	7	業務用プレートの確認	プレート区間外使用、車両間違え	2	2	4	適用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
	8	救急箱などの用意	ケガ・ハチ刺されなどの応急の手当てができない	2	2	4	消毒・ボイズンリムーバー等の用意	全員	1	1	1		
	9	車両点検、荷姿チェックをする	積荷の飛散、刃の防護カバーの落下	2	1	2	車両点検、荷姿チェックを乗車員と確認	乗車員	1	1	1		
移動	1	交通ルールの順守	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・全体編【WH-11】耐切削手袋 ・全体編【WH-12】後退誘導員の配置 ・全体編【WH-16】ケーブル防護対策 	
	2	本線から規制内にはいる(規制設置の場合)	人身、物損事故	3	3	9	必ず決められた箇所から規制内にはいる	全員	1	1	1		
作業開始	1	現地にて作業箇所に露出ケーブル、架空線がないか確認	架空線の切断	2	2	4	露出ケーブル、架空線が支障ないことを確認	作業員	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽編【PL-05】スイッチ操作者 ・植栽編【PL-06】連続スイッチカバー 	
	2	ウニモグのアーム(剪定機の刃)を操作し、設定しやすい安全な場所に動かす	操作中のアームがウニモグの車体に接触する	2	1	2	アームの操作者以外の者(運転手等)も監視する	作業員	1	2	2		
	3	ウニモグ剪定機の刃の部分の設定をする	法面(斜面)上で設定している最中に足を滑らせケガをする	2	1	2	斜面ではなく、平坦な所で設定する。	作業員	1	1	1		
													注意事項 ・電線架空線の5m範囲内はウニモグ作業禁止。 ・高圧送電線の直下と前後15m範囲内は閉電に事前協議必要。 ・車両サスペンションロック:回送時はOFF、作業時はロック。 ・アームのレバーロック:回送時はロック、作業時は解除。
	4	車両をゆっくり前進させながら、剪定していく	飛散物が作業員に当たる	2	2	4	作業機の前40m、後方20m、左右各3m以内立入禁止	全員	1	1	1	・許容切断厚さは、横方向20°までの傾斜で150mm以下、 45°までの傾斜で80mm以下。 ・ウニモグ作業中、作業監視者を配置する。	
												・木の太さ、障害物、飛散に注意する。刃を必要以上に傾けない	
回収・積込み	1	回収、積込み	積込み中、パッカー車に巻き込まれる	1	3	3	パッカー車の積込み装置の操作は選任者が行う	作業員	1	1	1	・立入禁止範囲内に入る場合は合図して、刃を止める。 ・回収、積込み作業は保護メガネ、又はフェイスシールドを使用する。	
	2	積込み車両・現場の清掃	車両に切り枝が乗って、走行中に飛散	1	2	2	車両に切った枝が乗っていないか確認	作業員	1	1	1		
運搬	1	指定された場所に運搬	トラックの積み荷の飛散	1	2	2	運行前の積み荷の飛散がないかチェック	作業員	1	1	1		
	"	"	"	1	2	2	パッカー車のゲートロックの確認	作業員	1	1	1		
片付け	1	その日の終了した現場確認	現場に道具等の置き忘れ	1	2	2	現場を出るときに最終確認をおこなう	作業員	1	1	1		
	2	規制内から本線の退出	人身、物損事故	3	3	9	保安員の合図の元に退出	全員	1	1	1		